

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 湘南レッド、遅出し技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 湘南レッドの出荷時期は5月下旬から6月末頃となっている。赤タマネギが品薄となる7月以降は、輸入品の市場占有率が高まるが、国内産の引き合いも強く、高値での出荷が見込まれる。 生産者からも8月に出荷可能となるよう、収穫時期が現状より1ヶ月ほど遅くなる品種の育成または作型の検討が望まれている。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 新たななかなかわ特産品の開発 (2) 新たな作物・品種の探索による特産品の開発	
対応の内容等 農研機構東北農業研究センターが中心となり、タマネギの端境期である7～8月どりの春まき新作型が開発されています。この新作型は東北、北陸地域を想定していることから、神奈川県での適応性について、当課でも‘湘南レッド’を含めて検討しているところです。貯蔵施設が十分になく、安定した品質での出荷が難しいという現場の状況から、新たな作型開発の需要はあると考えておりますが、現在までのところ、十分に球肥大することなく収穫期を迎えてしまうため技術確立が難しい状況です。適正な播種日、苗質などについて引き続き検討していきます。なお、作型開発での課題解決を優先させ、品種育成は見送らせていただきます。	
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
備考	